

議会報告会・意見交換会における市民（高校生）からの意見等に対する回答表

高校生等の要望・意見	回答	担当課
1 公共交通について		
○JR・バスの便数、路線が少なく不便なので、増やしてほしい。	○市内公共交通の利便性向上について 現在、人口減少や自家用車の普及により、JRやバスを利用される方は大きく減少し続けています。	交通政策課
○乗客が多い時刻にJRの車両も増やしてほしい。	また、全国的にも運転手不足が深刻化している状況です。公共交通の運行や整備には多くの費用が必要となるため、ダイヤの増便や車両の増加をすることは困難な状況です。	
○若者の目線での整備を。タクシーサービスの充実を。	本市では「みんなで乗って守る」意識を醸成するため、昨年11月よりノーマイカー通勤(ノルデ運動)の取組や、「とっとり交通フェスタ」といったイベントをとおして公共交通に親しんでいただき、併せて利用促進を図る取組を進めています。	
○タクシー乗車の際に障がい者手帳を示し、チケット乗車に対して運転手に嫌な顔をされた。乗りにくい経験をした。障がい者に利用しやすい交通施策を望みたい。	だれもが利用しやすい公共交通となるよう、また、現在運行されている路線を、守っていくためにも、公共交通の積極的な利用をお願いしたいと考えます。	
○車がなくても生活しやすくしてほしい。		
○バスの無人化（自動運転等）を取り入れてほしい。		
○「くる梨」の運行エリアを中心市街地以外にも拡充してほしい。	○くる梨の運行について	交通政策課
○くる梨のIC化は良いが「障がい者」割引が、電子マネーと連動してできているか。確認をお願いしたい。	100円循環バス「くる梨」は、官公庁、教育、文化、病院、商業、企業などの施設が集積し、多くの市民や来街者が活動される中心市街地の回遊性を高め、活性化を図ることを目的として運行しています。現在、中心市街地以外での運行の予定はありませんが、既存の路線バスを含め、学生の皆さんにとっても、より便利な移動手段の確保に努めてまいります。 (参考：鳥取駅からイオン鳥取北店まで路線バスが平日14便、休日22便運行されています。) また、障がいのある方が電子マネーを利用される場合は、運転手が機器の操作を行い、割引を適用しています。	

高校生等の要望・意見	回答	担当課
<p>○直接都会へ行く飛行機など、便数の不足を感じている。増便を。</p> <p>○他の町村に気になるお店があったとして、行きたくても選択肢は汽車しかない。</p> <p>○県内だけでなく他県とつながる交通インフラ整備を。</p> <p>○県内や市内に片寄らない利便性の向上を。</p>	<p>○県外との交通アクセスの充実について</p> <p>現在、飛行機は、鳥取砂丘コナン空港を発着とする鳥取・東京便が1日5便運行されています。高速バスは、鳥取駅バスターミナルなどから、東京、横浜、福岡、京都、大阪、広島等の便が運行されています。飛行機や高速バスの便数や新たなダイヤを増やしていくためには、さらなる利用の増加が必要となります。</p> <p>本市では、航空会社や旅行会社等と連携し、お得な運賃設定の商品や、旅行代理店や首都圏でのイベントと連携し、魅力的な旅行商品の販売により利用促進を図る取組を実施しています。</p> <p>県外との交通アクセスの充実を図るため、飛行機や高速バスの積極的な利用をお願いします。</p>	<p>交通政策課</p>
<p>○「鳥取市レンタサイクル事業」を要望。下校の際に友人と遊ぶことになった場合、交代で自転車をこいで、走ることがある。主要駅や大型ショッピングモールなどをつなぐレンタサイクル事業があれば助かるし、JR利用者や観光客にも有効だと考える。ぜひ、放置自転車等を活用するなどして実現してほしい。</p>	<p>○レンタサイクル事業について</p> <p>鳥取市内では、「市営鳥取駅高架下第2自転車駐車場」、「市営片原駐車場」、「鳥取砂丘コナン空港」の3か所で、それぞれの事業者がレンタサイクルを実施されています。</p> <p>今後も、多くの方に利用していただけるよう、事業者と一緒に、より利用しやすいレンタサイクルを目指していきます。</p>	<p>交通政策課</p>

高校生等の要望・意見	回答	担当課
2 道路整備について		
<p>○道路に傷んでいるところがあるので、補修してほしい。</p> <p>○樹木について、歩道内の樹木の枝など伐採の徹底をしてほしい。樹木の周辺に凸をつけてほしい。</p>	<p>○道路の維持・修繕について</p> <p>道路の陥没、段差等の危険箇所については、道路管理者（国・県・市）がパトロールを行い発見し、日々修繕を行っています。</p> <p>また、市民の皆さまから通報（電話、メール等）を頂き対処する場合がありますので、通行の支障になるなど、特に危険な場合には、道路管理者までご連絡をお願いします。</p>	道路課
<p>○道が暗い。特に、大型ショッピングモールから湖山街道方面に抜ける際、国道9号線の高架下（アンダーパス）は、自転車のライトをつけていても足元だけが明るくなるだけでとても暗い。安全面から明るい照明の設置をお願いしたい。</p> <p>○駅構内は明るいですが、有料駐輪場までの足元が暗いのでライトアップしてはどうか。</p> <p>○滝山地区の川沿いは、夜間はとても暗く危険である。明るくしすぎてもいけないが。</p> <p>○通学路の安全について、鳥取駅から自宅まで自転車を利用しているが、帰宅時間が遅くなると暗い中を帰ることが多いため、不審者が多く街灯を増やしてほしい。部活で帰宅時間が遅くなるため、多くの生徒から同様の意見がある。</p>	<p>○道路等の照明の整備について</p> <p>本市では、幹線道路など2車線道路の交差点や橋の前後、横断歩道などの事故の起きやすい場所に道路照明灯を設置し、夜間における道路交通の安全を図っています。</p> <p>また、住宅地の生活道路では、地元からのご要望に基づき防犯灯を設置しており、地元で維持管理を行っていただいています。夜間における歩行者等の通行の安全確保や犯罪の防止を目的として、地域と協働で安全な生活環境の実現を目指しています。</p> <p>なお、照明設置のご要望を頂いているアンダーパスは、幅員が狭く、車のすれ違いもできません。また高低差があるため、見通しが悪くて対向車に気づきにくく、大雨時には冠水の危険性もあります。構造的に改善が困難ですので、安全な東側の県道交差点をご通行いただきますようお願いいたします。</p>	道路課

高校生等の要望・意見	回答	担当課
○丸山―杉崎線は、時間帯により交通渋滞の程度が激しい。自転車も窮屈と感じる。	<p>○道路の安全対策について</p> <p>見通しの悪い交差点などの事故危険箇所においては、道路管理者（国、県、市）による道路拡幅等の道路改良、カーブミラー・ガードレール等の交通安全施設の設置のほか、警察による信号機・横断歩道の設置など、それぞれの道路管理者と警察が連携して交通事故防止策を講じています。</p> <p>また、通学路の安全対策として、学校、地域住民、教育委員会、道路管理者及び警察等の関係機関による合同の安全点検を毎年実施しています。</p> <p>警察では、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度規制を実施する「ゾーン30」の設定を行っていますが、本市としても、連携して各種安全対策を実施することで、面的に安心・安全な道路・地域の拡充を進めています。</p> <p>本市では、市民が安心して通行することができる生活道路を整備することにより、安心・安全な生活空間の創出を実現して参ります。</p>	道路課
○下校途中、自転車で、吉方温泉4丁目交差点の北側の路地から出てきた小さい子供とぶつかりかけた。下校途中にカーブミラーが少ない、カーブミラーを増やしてほしい。		
○高速道路で鳥取西道路のインター出口が柱で見通しが悪く危険であり、対策をお願いしたい。		
○駅南イオンから市役所新庁舎間、駅南イオンから新庁舎（くる梨バス停）に時間差になっても良い歩車分離式信号機を設置してほしい。		
○スクランブル交差点を、駅前だけでなく、その他人の集まる所にも取り組んでほしい。		
○砂丘までの道が狭い。ピーク時に合わせて、砂丘までの道を「4車線化」してほしい。（8 「砂丘」関連）	8 「砂丘」の観光地への交通・駐車場対策の中で回答	
○企業誘致が進むような交通整備を。大型トラックが通るのに道幅が狭い。	ご意見として承りました。	

高校生等の要望・意見	回答	担当課
3 商店街等の活性化について		
○まちなかに学生が集えるように、空き店舗を活用して、自転車置き場を整備してほしい。	○空き店舗の活用について 本市では、空き店舗などの遊休不動産を再生し、活用することでまち（エリア）の魅力を高める「リノベーションまちづくり」を進めています。この取り組みでは、民間がまちづくりの視点で事業計画を立て、自ら資金調達、リノベーション（改修）を行い、自立的に運営を行っていきます。	中心市街地整備課
○駅前には、居酒屋など大人が行くイメージが強い。空き店舗を活用して、高校生が入りやすいリーズナブルでいっぱい食べられる店や、おしゃれな古民家カフェや、都会にあるようなブランドショップ、古着屋などがほしい。	また、本市では、起業に関する投融資やアドバイザー派遣の制度等により民間をサポートするとともに、まちづくりの担い手の人材育成に取り組んでいます。いただいたご意見の趣旨については、魅力あるまちづくりを進めるため、こうした取り組みの中で反映していければと考えます。	
○高校生にはSNSを使った発信にすごいものがあり、高校生の企画・提案を募ってはどうか。	○高校生目線のまちづくりの取り組みについて 本市では、空き店舗を活用したまちづくりのほか、商店街振興組合への支援や連携を行うとともに、	経済・雇用戦略課
○高校生向けの魅力ある店などを紹介した冊子の作成やスタンプラリー企画がほしい。	鳥取市国際観光物産センター「まちパル鳥取」での観光情報・まちなかの魅力情報の発信などを通して、商店街の賑わいづくりや活性化に取り組んでいます。	
○歴史を取り入れる。国府町の池田家墓地、万葉歴史館などを活用する。	いただいたご意見を参考に、本市の魅力発信や地域資源を活用した、さらなる商店街の活性化に取り組んでまいりたいと考えます。	
○自然をまちなかに入れる発想で、商店街に梨、ぶどう、らっきょうなどの果樹園や畑をつくって収穫体験ができ、葡萄酒が飲めるような自然を感じられる施設がほしい。		
○プラスチックストローの廃止で、鳥取の杉を活用した木製ストロー製造や木製品づくりに力を入れて推進してほしい。（4 「生活・暮らし」関連）	○地域の森林資源を活用したまちづくり・仕事づくりについて 地球温暖化など、環境問題が深刻化傾向にある中、地域で育った木材の利活用を促進し、循環型社会の形成を進める取り組みは重要と考えています。 本市としては、近隣自治体、県、林業事業者、及び木材加工等関係企業と連携しながら、木造建築物や木材加工製品などの地域産材の利活用の促進を図ってまいりたいと考えます。	林務水産課

高校生等の要望・意見	回答	担当課
4 生活・暮らしについて		
○芸術大学に進みたいと思っており、劇団などの公演活動が増えてほしい。文化交流の場所も市民団体に限らず、演劇などの隆盛を願う。	○文化活動に対する取り組みについて 本市では、鳥取市文化芸術振興条例（平成21年制定）を制定し、「鳥取市文化芸術振興に関する基本方針」を定め、市民や文化団体の皆さまとともに文化芸術の薫りあふれるまちづくりを進めています。この中で、文化芸術に対する意識の高揚や文化芸術活動に対する支援、文化芸術の創造、発表及び鑑賞機会の充実、人材の発掘及び育成などを基本的な方針として掲げ、文化芸術の振興に取り組んでいます。 今後も、自主的かつ創造的な文化芸術活動に対する支援や活動しやすい環境整備を行うことにより、市民の皆さまによる文化芸術活動を下支えしていきたいと考えています。	文化交流課
○若者の遊び場が少ないので、娯楽を市内に設ける。	○若者にとって魅力あふれる街づくり・若者が集う場所づくりについて 少子高齢化の進展に伴い、地域の活力、コミュニティ機能の低下が懸念される中で、若者にとって魅力があり、活気のあるまちづくりを行うことは重要であると考えます。商業・娯楽施設の充実や鳥取駅周辺の賑わい創出等については、事業を実施する民間事業者等との連携が必要です。	中心市街地整備課
○人が少ない鳥取駅近辺の賑わいを取り戻すためのサービスの充実を。	また、高校生のみなさんの自習室、学習スペースが不足している件については、学校や地域、各公共施設等と連携し、課題解決を図っていく必要があります。	中心市街地整備課
○シャッター街の中にも良い店はあるので、それからアピールを。（3「商店街」関連）	今後さまざまなお意見をお聞きしながら官民が一体となった魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えます。	中心市街地整備課
○特に、テスト期間は、自習室が不足している。通学時間などの空いた時間を有効に使える様に、市内の学校や図書館以外に自習室がもっとあっても良いと思う。	○子育て環境の充実について 平成27年度に子ども・子育て支援新制度が始まって以来、保育園等への入園希望者は増加しており、本市では民間事業者による小規模保育事業所の開設等の支援を積極的に進め、現在までに10園が開園しています。 また、平成31年4月には、新たな認定こども園が1園開園しており、今後も引き続き、保育士確保と併せて保育のニーズに対応した保育の受け皿確保に取り組むとともに、親が喜びや生きがいを感じながら安心して子育てをすることができ、鳥取市の将来を担うすべての子どもが明るく健やかに成長できるよう子育て環境の充実を図っていきます。	こども家庭課
○市街地と山間部にはそれぞれの良さがあり、役割分担を。	ご意見として承りました。	

高校生等の要望・意見	回答	担当課
5 若者の住みやすいまちについて		
○医療系には奨学金があるので、他の業種もつくってほしい。	○地元就職への支援と魅力ある企業の誘致・起業について 1. 本市では、今年度より、市内中小・小規模企業が従業員の奨学金返還について特別手当の支給等により負担軽減を行う場合に、その負担額の2分の1に相当する額を年8万円を上限として、最長8年間にわたり補助する制度を創設しています。	
○看護師・医療関係の奨励金はあるが、他の業種はない。他の業種であれば、地元に戻ってきやすい。若者の人口が増えるのではないか。	特定業種に限定せず、負担軽減制度を設ける全ての企業へ支援を行うことで、市内企業の人材確保を促進し、若年者の定住や離職の防止につなげていきたいと考えています。 【参考】 ①鳥取市中小企業等奨学金返済支援事業補助金チラシ（市） ②平成31年度 大学等進学に係る主な奨学金等のご案内（県） ③鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金チラシ（県）	
○県外流出について、就きたい仕事、選べる仕事が少ない。デザイン、メディア系などを増やしてほしい。	2. 若者にとっても魅力ある雇用の場の創出を目指して、企業誘致に積極的に取り組んでいます。近年は成長産業にターゲットを絞り、優良企業を誘致しようと努めた結果、食品製造、航空機・自動車産業、医薬品製造など多種多様な企業の誘致を実現しました。デザイン、メディア系を含めたIT系企業や就職ニーズの高い事務系企業の誘致については、従前から取り組んでおり、近年はデータ入力・作成業務やソフトウェア開発業務などを行う企業を誘致しています。	
○高校卒業後は県外進学を考えているが、卒業後は鳥取市に帰り、働きたいと思っているので、県外から鳥取の就職情報が、より分かるような情報発信をお願いしたい。	引き続き若者に魅力ある雇用の場の創出を図るため、企業誘致に努めてまいります。 3. 就職情報については、市内の仕事・住まい・暮らし等の最新情報を無料でお届けする「鳥取市Uターン支援登録制度」、就職活動で帰鳥する際の交通費支援を行う「Uターン者就職活動交通費支援事業」、移住相談業務のワンストップ化として移住定住専任相談員が就職相談を行う「無料職業紹介」などサポート体制の充実を図っています。	経済・雇用戦略課 企業立地・支援課 地域振興課
○都会と変わらない仕事があれば、Uターンに期待でき、ただ帰郷するのではなく、都心での人脈、金脈などを活用するなど、鳥取の職業をより良いものにする。	これらの制度を積極的に活用していただけるよう、引き続き鳥取市公式HPやSNS、メール配信等による情報発信に努めてまいります。	
○都会ではできない鳥取だからこそできる起業支援などを推進してほしい。	4. 本市の起業・創業に対する支援策としましては、平成30年度に、中心拠点や地域生活拠点の空き店舗をリノベーションして起業・創業する者に対しての制度である「まちづくり投融資」制度を創設しています。これは本市及び本市に本店のある地方銀行との連携協力のもと、起業・創業時の単なる一時補助ではなく、投資及び融資により操業開始から安定期まで伴走型の支援を行うものです。 今後も本制度の活用を促進し、若者の起業を支援してまいります。	
○都会とつながるテレワーク（在宅型業務）の促進と、そのような企業との連携・誘致を。		

高校生等の要望・意見	回答	担当課
○部活の練習場について、試合前は、自校の体育館は利用が多く、なかなか使用できないので、公共の体育館を増やしてほしい。	<p>○スポーツ、文化、娯楽施設の充実について</p> <p>本市では、「鳥取市中心市街地活性化基本計画」(H30.4.1～R5.3.31)に基づき、魅力と賑わいのある中心市街地の再生に取り組んでいるところです。平成29年2月に市民を対象として実施した「鳥取市中心市街地活性化に関する調査」では、娯楽、商業、観光、文化・芸術施設等のニーズが高く、中心市街地の都市機能の充実と賑わい創出のため、ニーズに合った民間投資を促すための各種事業を進めていくことにしています。</p> <p>また、本市では、空き店舗等を再生し、活用することで、まちの魅力を高める「リノベーションまちづくり」の推進や、風紋広場、ケヤキ広場など公共空間を活用し、鳥取駅周辺に恒常的な賑わいを創出する取り組みの検討を行っており、既存ストック(これまで整備されてきた道路、公園などの都市基盤施設や、住宅、商業・業務施設等)を上手に活用しながら、市民の皆様のニーズに合った取り組みを進めていきたいと考えます。</p>	中心市街地整備課
○若桜街道を活性化させてほしい。若者の遊ぶ施設を増やしてほしい。		
○映画館が少なく、最新作も見られない。上映内容がもっと豊富であってほしい。		
○スポーツが楽しめるなど、若年層が遊ぶことができる場所を整備してほしい。		
○カフェなど、若者・子どもの遊ぶ場所を増やしてほしい。また、複合スポーツ・アミューズメント施設を誘致してほしい。		
○体育館が1つあれば良いと思う。バドミントン、バレーボール、スカッシュ、テニス、フリークライミングを行えるような設備。鳥取県東部には、現状では布勢のサブアリーナでしかフリークライミングを行えない。また、技能を有する者しか利用できない。		
○若者が楽しめるイベントや企画を増やしてほしい。		
○駅構内に飲食店・カフェは店の中に入らないと飲食ができない。通路から直接購入できるような店もあればもっと気軽に利用できる。		
○風紋広場をもっとイベントで活用できるようにしてはどうか。けやき広場で、3×3バスケットができるようにするなど、若い年齢層も集まれる整備を。		
○ベンチが少ない。待ち合わせができるようベンチの設置を。		
○県立図書館は勉強禁止だし、市立図書館は狭くてすぐ満席になる。待ち時間を有効に使うためにも、駅構内に学習スペースを設置してほしい。	4 若者にとって魅力あふれる街づくり・若者が集う場所づくりの中で回答	

高校生等の要望・意見	回答	担当課
○駅や商店街に公共Wi-Fiが少なく、増やしてほしい。	<p>○ICT技術等の活用について</p> <p>本市では、新聞の記事下広告やテレビのスポットCMなど、それぞれのメディアの特性を生かしながら、イベント情報などを市民の皆さまへお届けしているところです。</p> <p>ご意見をいただきましたSNSの活用についても、これまでのFacebook、Twitter以外に、LINE、Instagramでの情報配信を始めました。ご登録いただき、是非ご覧ください。</p> <p>また、現在、商店街エリアにおいては、鳥取市国際観光物産センター「まちパル鳥取」で公共Wi-Fiが利用できます。今後、商店街振興組合等と連携し、公共Wi-Fiスポットの増加に取り組んでまいりたいと考えます。</p>	<p>経済・雇用戦略課 広報室</p>
○広報・販売の手法改善による来訪者の拡大をはかるためにも、ペイペイなどのキャッシュレスの導入促進をより図ってほしい。		
○ご年配には新聞・テレビ媒体を使用し、若者にはSNSを活用し、イベントの周知を図る。		
○鳥取の良さ、自然が多いことをアピールして県外から人を集めてはどうか。（7 「シティプロモーション」関連）		
○山間部と異なり、中心部の空が明るすぎる（2～3年のうちに感じるようになった）。	<p>ご意見として承りました。</p>	
○ジャマイカ誘致の事業から、外国との交流を身近に感じる。中学校時代の体験で、姫島交流が心に残っている。		
○ブームをうまく捉えた施策を推進してほしい。		

高校生等の要望・意見	回答	担当課
6 障がい者が日頃感じていること		
<p>○盲学校の体育館のラインテープなどは、紐が入っていて分かりやすい。特に、避難所には、トイレへ行く時や、トイレ内にも凸で目印表示をしてほしい。</p>	<p>○避難所における障がいのある方への配慮について</p> <p>避難所内における紐入りのラインテープは高齢者や車いす利用者にとっては障壁となるため、避難状況に応じて対応させていただきたいと考えます。</p> <p>また、これ以外にも、避難所において、障がいのある方へ声掛けを行い、可能な配慮を行ってまいります。</p>	障がい福祉課
<p>○「あいサポート条例」はあるが、「視覚障がい者条例」をつくってほしい。</p>	<p>○視覚障がい者条例の制定について</p> <p>「鳥取県民みんなで進める障がい者が暮らしやすい社会づくり条例」（あいサポート条例）は、障がいのある方が地域社会の中で自分らしく安心して生活ができる社会の実現を目指して、平成29年9月に施行されたもので、県内はもとより全国にも運動の輪が広がっているものです。</p> <p>この条例には、障がい者が暮らしやすい社会づくりに向けて、①障がいへの理解とあいサポート運動の推進 ②障がい者差別の解消 ③障がいの特性に応じたコミュニケーション手段の充実と情報アクセスビリティの保証 ④災害時における障がい者支援 ⑤障がい者の自立と社会参加の推進の5つの柱が設けられています。また、行政、事業者、県民それぞれの責務や役割が具体的に示されるとともに、障がい者の意思疎通、災害発生時の情報伝達、避難所での対応について、障がいの種別ごとに、取るべき対応や取り組みが具体的に示されています。</p>	
<p>○視覚障がい者への理解がされていない。視覚障がい者のヘルプサインが知られていない。「視覚障がい者条例」を制定してほしい。</p>	<p>本市としても、障がいの種別にかかわらず、あいサポート条例に基づき、県とともに今後も取り組みを推進することにより、障がい者が地域社会の中で自分らしく安心して生活ができる社会の実現を目指していきたいと考えます。</p>	障がい福祉課

高校生等の要望・意見	回答	担当課
<p>○見えにくい立場から、一般的なバリアフリーと違い、段差や縁石も目印になるので、しっかりと対応をお願いしたい。</p> <p>○特に、丸山交差点の歩道橋が複雑で方向がわからなくなる。何が、どこにあるのか、音声や点字表示等をしてほしい。</p> <p>○弱視の人は、黄色でわかる立体的なもので判断可ですのでお願いしたい。幅の細いものでもわかります。その上には、物など置かないでほしい。</p> <p>○バス停やJR周辺の点字ブロックがない場所又段差が大きいところがある。改善をお願いしたい。</p> <p>○点字ブロックの上に物を置かないことを徹底してほしい。</p> <p>○音声信号機を増やしてほしい。点滅している時は見えないので、音のスピード変化などで音声の変化で知らせてほしい。</p>	<p>○視覚障がい者の屋外での活動における安全対策について</p> <p>道路や建物等のバリアフリー解消や安全対策は、各所有者・管理者が行うこととなります。本市でも、道路等の危険な箇所や障壁となっている箇所を確認し、各施設管理者に改修を依頼する「街なか点検」を行っているところです。横断歩道を渡る場合などに、歩道と車道の境界を識別できるよう、2センチの段差を付けて道路整備を行ったり、車いすの乗り入れを円滑にするため、段差の一部に切り欠きを入れて対応しているところですが、行政だけでは点検に限界がありますので、気づかれた場合は各施設管理者へ連絡をお願いします。</p> <p>また、音声信号の増設についての要望は、管理者である鳥取県警察本部に伝え、今後の対応を検討していただくようお願いしました。</p>	<p>障がい福祉課 協働推進課</p>
<p>○障がい者の雇用率は低い現状。市民向け「ヘルスキーパー制度（マッサージ専用）」をJR施設、商業施設に作ってほしい。障がい者雇用が増え、利用者の健康保持につながり、企業は従業員との良い関係を構築し、鳥取市のイメージアップにもなり、4者がウィンウィンとなる。</p>	<p>○障がい者の雇用の場の確保について</p> <p>ヘルスキーパーの設置は、従業員の健康管理、疲労回復、疾病の予防に加え、身体、心理面へのリフレッシュによる生産性の向上、また、企業にとっては障がい者の雇用の向上にもつながると考えます。</p> <p>今後、障がい者の雇用の場の確保に向けて、特定求職者雇用開発助成金、障害者雇用納付金制度に基づく助成金、障がい者雇用奨励金や職場適応訓練、短期職場適用訓練の活用など利用可能な制度の情報提供に併せ、ヘルスキーパーの普及啓発にも取り組んでいきたいと考えます。</p>	<p>経済・雇用戦略課 障がい福祉課</p>
<p>○盲学校の中に「視覚障がい者・東部支援センター」があるので、利用促進に向けたPRをしてほしい。</p>	<p>○視覚障がい者・東部支援センターのPRについて</p> <p>視覚障がい者・東部支援センターは令和2年6月頃に、さわやか会館又はさざんか会館に移転する予定です。駅からも近い、さわやか会館やさざんか会館の周辺は、県東部圏域の福祉拠点として充実していくこととしており、より多くの方に利用していただけるよう関係機関とともにPRしてまいります。</p>	<p>障がい福祉課</p>

高校生等の要望・意見	回答	担当課
<p>7 鳥取市のシティプロモーションについて</p> <p>○東京ディズニーランドで、やさしく対応されとても嬉しかった。まちづくり「鳥取ドリームランド」を提案。笑顔が光り輝くまちをコンセプトに、声掛けを励行。市民が主役のプロモーションビデオを作成しYouTubeへアップ。鳥取市のイメージアップで、観光客の増加を図り、移住者の増加に繋げる。</p>	<p>○シティプロモーションについて</p> <p>本市のシティプロモーションは、鳥取市が「誰もが暮らしたくなる、魅力ある住みやすいまち」であることを全国に浸透させるとともに、市民のみなさんにも改めて地元への愛着を高めていただくことを目指して取り組んでいます。</p> <p>市民のみなさんにも参画いただきながら、笑顔があふれるようなまちのイメージがしっかり伝わる効果的なプロモーションを展開していくことが大切と考えています。</p> <p>昨年度からユーチューブを活用し、市内や麒麟のまち圏域で活躍するゲストを迎え、地域の魅力を発信する「今夜くらいトットリの話聞いてくれないか」の動画も配信しています。是非、ご覧ください。</p>	<p>秘書課広報室</p>
<p>8 「砂丘」等観光地の活性化について</p> <p>○自然を生かし、鳥取砂丘を特徴づけながら観光名所の質を高めてほしい。「砂」、「星」、「漁火」を材料として、例えば「砂丘のライトアップ」、「砂像の磨き上げ」、「自然コンサート」、「砂丘の地下に商業施設」など、鳥取砂丘の集客力を高めてほしい。</p> <p>○美術館を誘致する際、砂丘に地下をつくる話も出ていたので、砂丘の地下に商店街をつくってはどうか。</p> <p>○京都市の景観条例でルールが決められているように、鳥取の自然環境に適した景観のルールをつくり商店街を活性化させてはどうか。例えば、砂を敷く、木を水の中に入れるなど。</p> <p>○砂丘の「ポケモンGO」のようなイベントを、まちなかでも増やし、集客促進を図っていただきたい。また、その他、さまざまな位置情報ゲーム等の研究をしていただき、マイナーな場所やいまだ開発されていない絶景などで実施してほしい。</p> <p>○観光地として県外の人には、砂丘があるが、地元の人が行く観光地がない。</p> <p>○砂丘でビーチサッカーやビーチバレーを開催してほしい。</p>	<p>○集客力を高める方策について</p> <p>現在、山陰海岸国立公園である鳥取砂丘の優れた自然環境を大切にしながら、滞在型観光に繋がるリゾート型宿泊施設の誘致を進めています。</p> <p>砂丘全体の宿泊・滞在環境がさらに向上すれば、夜の砂丘の魅力アップや、インバウンドも含め観光客の集客に繋がる様々なイベント開催が促進され则认为ます。</p> <p>また、令和元年9月には、砂像文化の醸成を目的とした取り組みの一環として、有名ゲーム「モンスターハンター」とのコラボ砂像を制作し、駅前風紋広場で公開しました。当日は、モンスターハンターのファンをはじめ県内外より多くの来場者があり、SNSのツイッター数も1万を超えるなどの反響がありました。</p> <p>このような効果も検証しつつ、ゲームやアニメを活かした集客イベントの開催も機会を捉えて研究してみたいと考えます。</p>	<p>観光・ジオパーク推進課</p>

高校生等の要望・意見	回答	担当課
<p>○観光地付近の道路の渋滞を解消してほしい。</p> <p>○観光で人を呼ぶのだったら、駐車場が少なく、増やしてほしい。</p>	<p>○観光地への交通・駐車場対策について</p> <p>現在、鳥取砂丘の主要な観光スポットは、砂丘東側に集中しています。このため、ゴールデンウィークなど観光客が多い時期には、主に砂丘東側を中心に交通渋滞や駐車場不足が発生しています。</p> <p>本市ではシャトルバスの運行や臨時駐車場の確保などの渋滞対策に取り組んでいるところですが、あわせて砂丘西側も賑わいあふれるエリアとなるよう検討を進めています。砂丘の東側・西側両方が観光客の訪れるエリアとなることで、観光客の流れも分散され、現在のような交通渋滞や駐車場不足は改善されるものと考えます。</p>	<p>観光・ジオパーク推進課</p>
<p>○地元の人でも見つけられていない観光地の周知を。</p>	<p>○観光素材の掘り起こしとPRについて</p> <p>本市には、鳥取砂丘や山陰海岸ジオパークをはじめとする豊かな自然、その豊かな自然が育んできた梨、らっきょう、カニなど多彩な四季の味覚や、古くから受け継がれてきた麒麟獅子舞や傘踊りといった歴史・伝統・文化など、魅力ある観光資源が多くあります。</p> <p>一方で、まだ地域の中でも知られていないインスタ映えしそうなスポットなど、磨けば宝となる資源も多く眠っていると考えます。</p> <p>こうした資源は、みんなで連携・協力しながら大切に磨き上げ、SNSやウェブサイトなどを最大限活用して積極的に発信していくことで、市民にとっても、また国内外から本市を訪れる人たちにとっても魅力ある観光コンテンツになっていくと考えます。</p>	<p>観光・ジオパーク推進課</p>